



資料提供	
平成21年4月21日	
提供(担当者)	地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター 食品開発研究所 (秋田 幸一 アキタ コウイチ)
電話	0859-44-6121

食品開発研究所での重油の所内漏出について（第4報）

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター食品開発研究所（所長 秋田幸一 アキタ コウイチ）では、4月6日（月）に判明した施設内ボイラー配管からの重油漏出事故で、重油汚染土砂の搬出撤去とあわせ、敷地内でボーリング調査（敷地境界線及び漏出箇所周辺で合計22箇所）を行いました。

施設敷地境界では、土砂に油膜及び油臭は認められませんでした。

漏出箇所周辺では、施設西側の敷地境界線から東に4m入った敷地内で土砂に油膜及び油臭が確認されたので、外部へ漏出させない予防対策として、鋼矢板を設置することとしました。

なお、第3報後に判明した新たな事実と現在の状況は下記のとおりです。

記

1 重油汚染土砂等の搬出撤去	<ul style="list-style-type: none"> 4月20日（月）までに累計で重油汚染土砂約53トン、水混じりの重油約3トンを搬出撤去済み。
2 ボーリング調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県西部総合事務所生活環境局と相談し、4月10日（金）から4月15日（水）まで、施設に隣接する河川側の敷地内4箇所及び施設敷地境界3箇所の合計7箇所（深さ3.5m）のボーリングを実施。 7箇所とも油の汚染は認められなかった。 4月13日（月）から4月18日（土）まで、漏出箇所周辺で重油浸透範囲を調査する合計15箇所のボーリングを実施。 4月17日（金）に施設西側の敷地境界線から東に4m入った敷地内で、土砂に油膜及び油臭が確認された。
3 予防対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 重油を施設敷地内に封じ込め、万一にでも外部へ漏出させない予防対策として、施設西側の敷地境界に沿って鋼矢板（こうやいた）を深さ4mまで設置予定。 鋼矢板の設置作業は4月23日（木）から行う予定。 4月15日（水）から施設西側に隣接する深田川（ふかだがわ）に、万一に備えてオイル吸着マットを設置。 現在まで、深田川に油膜及び油臭は確認されていない。
4 重油回収・監視調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 現在まで、敷地外への重油漏出は確認されていないが、引き続き、施設内の重油回収とボーリング箇所での監視調査を行う。

参考：鋼矢板（こうやいた）は土木建築工事で使用される土砂等流出防止用の鋼材

○第3報（4月9日23時45分頃資料提供済）を添付しています。